

上がろうと必死になり、歩く修練を始めた姿に、「生きる」ということは、こういうことなのだ、清左衛門は命の愛おしさを感じるのであります。

こうして迫り来る老いの闇路に分け入って、美しいものも醜いものも、きちんと見定め、変転極まりない人間関係の中から再び生きる活力を蘇らせていこうと思うのは、決して私一人だけではないと思います。

日々老境を迎えつつある私どもにとっても、これは決して無縁のことではないと思い、「清左衛門残日録」にこと寄せて、いささか皆さんのお耳をけがした次第であります。



お祝いの言葉

(3月25日 第36回例会 名古屋東山クラブチャーターナイト)

ご紹介を賜りました名古屋和合クラブの石原でございます。一言ご挨拶を申し上げます。

本日、名古屋東山ロータリークラブのチャーターナイトが、愛知県、名古屋市を始め、多くのご来賓のご臨席を賜り、又、松本ガバナーを始め多数の親愛なるロータリアンの皆様のご参集を得まして、このように盛大に開催される運びとなりましたことを、心よりお祝い申し上げます。

私どもスポンサークラブといたしましても、大きな喜びであり、感激も一入であります。

さて、設立の趣旨につきましては相羽特別代表から只今、お話のあった通りであります。

私ども和合クラブは創立25周年記念事業の一環として、政治も経済も誠に不透明で全く厳しい社会環境ではあります。こういう時こそ、新クラブ設立という記念事業に挑戦しようと、全員が熱意に燃え、取り組んだわけがあります。

東山クラブさんご自身も、古谷会長さん始め、皆さんが素晴らしい行動力、渾身の努力をなされました。両者相俟って、新クラブ結成という難事業が達成されたと思っております。

それにつきましても、松本ガバナー、内田幹事、古川分区代理始め、関係各位の暖かいご指導、ご支援の賜と深く感謝申し上げる次第であります。

名古屋東山ロータリークラブは54名のスタートであります。平均年齢は53.6歳と極めて若く、まさに「若さとバイタリティー」に溢れたクラブであります。

若い集団には勇気があります。失敗を恐れず、伸び伸びと友情の輪を広げられ、親睦を深め、奉仕活動に邁進され、素晴らしいクラブに成長されますことを心から祈念いたしますと同時に、ご参集の皆様の引き続いてのご支援、ご指導をお願いいたしまして、私のご挨拶といたします。ありがとうございました。

野 球

(4月2日 第37回例会)

皆さん今晚は。

ビジターの方々、よくお越しく下さいました。
心から歓迎申し上げます。

会員の皆さん、ご出席ありがとうございます。
先週25日は当クラブ創立25周年記念事業である
東山クラブのチャーターナイトでありました。
会員各位の頑張りで盛大に開催され、無事終了
いたしました。
ご協力ありがとうございました。

さて、プロ野球ペナントレースは、いよいよ明
後日4月4日開幕、わが中日ドラゴンズも新装
なったナゴヤドームに横浜ベイスターズを迎え、
今シーズンの幕を切って落とします。

一方、東京六大学野球・春のリーグ戦も今月
開幕、早慶戦など幾多の熱戦が期待されてお
ります。

ところで、4月4日といえば、今から92年
前の1905年(明治38年)の4月4日、早
稲田大学野球部の選手14名が、横浜港から3
ヶ月に及ぶアメリカ遠征に出発いたしました。
これはわが国の野球チーム初の海外遠征で、ハ
ワイ、アメリカ西海岸の大学チームなどを相手

に各地で熱戦を繰り広げましたが、結果は7勝
19敗でありました。

既にお気づきの方もおられると思いますが、
この1905年という年は、わがロータリークラ
ブの開祖シカゴの青年弁護士、ポール・ハリス
が、3人の友人と語らって2月23日、第1回
の会合を開いた年であります。

また、目をわが国に転ずれば、当時は日露戦
争の最中でありまして、ロシアのバルチック艦
隊が極東の軍港、ウラジオストックを目指して
粛々として東航中であり、バルチック艦隊が対
馬海峡を通過して日本海へ入るか、それとも、
太平洋側から大きく迂回して津軽海峡を目指
すかで、海軍首脳部はもとより、国民一般も戦々
恐々としていた時代でありました。

世に名高い日本海海戦において、わが海軍が
連戦連勝、パーフェクトゲームを演じたのは、
早稲田の野球部が出発後、約1ヶ月余り、5月
27日~28日のことでありました。

こうした当時の世相から見てみますと、天下
分け目の決戦が間近に控えているというのに、
いくら学生とは言え、堂々と海を渡り、野球を

通じて親善を深めたということは、当時はある面では、まだまだ余裕があったのだなあという思いがいたします。

願わくは、わがロータリークラブの奉仕活動も斯くありがたいものであります。

(本日は南ロータリークラブ創立40周年記念例会に出席のため富島エレクトにご挨拶の代読をお願いしました。)



メートル法

(4月9日 第38回例会)

皆さん今日は。
ビジターの方々、よくお越しく下さいました。
心から歓迎申し上げます。
会員の皆さん、ご出席ありがとうございます。

明後日4月11日はメートル法公布記念日です。

日本では、昭和34年から、長さ、体積についてメートル法を使うことになり、また、昭和41年から土地建物についてもメートル法が採用されるようになりました。

メートル法の由来を調べてみますと、フランスの政治家・タレーランがこれに関係している事が分かるのであります。

ご案内のように、タレーランという人物は19世紀の初め、ヨーロッパの政治・外交分野で活躍した人で、「会議は踊る」で有名なウィーン会議でオーストリアの外相メッテルニッヒを向こうに回して丁々発止とやった外務大臣でありました。

これより20年くらい遡って、タレーランが未だ40歳そこそこの頃、当時フランス国内でさえ、地方によって度量衡の単位がまちまちであったため、計量単位の統一を思いつき、メー

トル法の原型となるものを提案したのであります。時のフランス政府は当時、學術の權威であったアカデミー・デ・シアンスへメートル法制定の委託をいたしまして、1795年に出来上がったものが最初のメートル法となりました。

この時、フランスのパリを通過する地球子午線全周の4千万分の1と定義されたものが最初の1メートルの長さとなりました。

その後、幾多の変遷を辿って今日みられるようなメートル法となりましたのでありますが、現在では、1983年に定められたものが一番新しく、「光が真空中を、1秒の2億9979万2458分の1の時間に進む長さ」を1メートルと定義しております。

さて、メートルは小はミリメートルから大はキロメートルまでありますが、もっと長い距離はどういう単位を用いるのでしょうか、

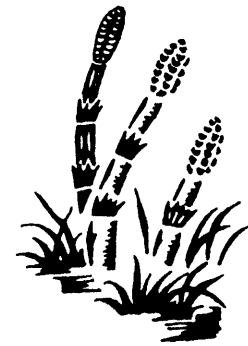
「光年」というのがあります。光が1年間に到達する距離で、約9兆5千億キロメートルが1光年です。

銀河系というのがありまして、太陽系もその一部を形成しているのがありますが、この銀河

系の直径は10万光年といわれております。従って、今われわれが見ている銀河は10万年前のものであり、銀河の今の姿はあと10万年たないと分からないということになります。全く気の遠くなるような話であります。

こうして見ますと、人間の営みというのは、物質を細かく分解して素粒子を考えだしたのと同様、遠く宇宙空間へ乗り出して、膨張する宇宙を極めようとする人間の探求心には際限のないものが感じられ、誠に気宇壮大な気分になります。

時には、日常の雑事から離れて、遠く天体に思いを寄せてみるのも、よいのではないでしょうか。



タイタニック号衝突の謎

(4月16日 第39回例会)

皆さん今日は。
ビジターの方々、よくお越しくございました。
心から歓迎申し上げます。
会員の皆さん、ご出席ありがとうございます。

今日は「タイタニック号衝突の謎」と題して
少しお話してみたいと思います。

今から85年前の1912年、サザンプトン
からニューヨークを目指して処女航海の旅に上
ったのがイギリスの超豪華客船タイタニック号
でありました。

4月14日夜11時40分、処女航海もあと少
しで終わろうという時、北大西洋のニューファ
ウンドランド沖合で氷山に衝突、救援のSOS
も空しく、暗夜を2時間40分も漂流の末、翌
15日未明、2時20分、海面下にその勇姿を
没しました。この巨大客船の遭難で乗員・乗客
2200余名の内、1500名以上の人たちが
命を落とし、救助に駆けつけた船に救い上げら
れた者僅かに705名という平時においては、
海難史上最大の事故となり、爾来、事故原因を
巡って世界中に大きな謎を残しました。

今から10年程前の1985年、アメリカとフ

ランスの深海探査船チームによって引き揚げ作
業が試みられ、幸運にも、沈没箇所を突き止め
ることができました。その後、数次にわたる引き
揚げ作業によって、3,600点におよぶ遺品が
引き揚げられ、現在では写真集等でその姿を見る
事ができます。

それは兎も角、海難事故の原因は一体何だっ
たのでしょうか。

イギリスのジャーナリスト2人は数年前に出版
された(The Riddle of the Titanic ザ・リ
ドル・オブ・ザ・タイタニック 原題直訳は「タ
イタニック号の謎」、日本語訳本は集英社発行)
によれば、実に大胆な推理を展開しております。

謎の第一は、「事前に何回も氷山の警報を受け
ていたにもかかわらず、危険な海域に減速せず
に突っ込んでいった船長の行動」。

謎の第二は、「出航直前に、かなりの乗客が搭
乗をキャンセルしたこと。その筆頭は、船の実質
オーナーであるアメリカの富豪J.P.モルガン」。

謎の第三は、「遭難時、複数の人間によって目
撃された、現場付近を通過した船の存在」……。

この後、謎はまだまだ続くのでありますが、
これらの謎の糸を丹念に解きほぐし、大胆な推

理を基に組み立てたのが、「タイタニック号は実は、その姉妹船オリンピック号の替え玉であった」とする驚くべき結論であります。

そういった事情を慮ったのでありましようか、先に紹介した本の日本語訳本の題名は、ずばり、「タイタニック号は沈められた」であります。

これまでタイタニック号衝突・沈没の原因としては、「自然の猛威という運命」であるとするのが通説でありましたが、この本の著者は、「運命」によって「沈んだ」のではなく、さまざまな人間たちの欲望の代償として、別の船がタイタニック号として（そして数多くの犠牲者が）「沈められた」のではないかと大胆な推理をしているのであります。

それが証拠に、船主のホワイト・スター汽船には船体の損失費用として、100万ポンドの保険金があったという間に払われましたが、犠牲となった乗客には裁判の和解によって雀の涙しか払われなかったという事実であります。

いずれにしても、この事件には人間の醜い一面が随所に見られるのでありますが、その一方で、「最早やこれまで」と覚悟を決め、正装した一等男子船客がポート・デッキに集まり、楽団の演奏する賛美歌を唄いながら、従容として海中に没したエピソードは今なお感動的で、そこに何がしか心が救われる思いがするのであります。

6 R C 合同例会

(4月22日 第40回例会)

和合クラブの石原でございます。

当クラブからは、先般3月25日に執り行われました名古屋東山ロータリークラブのチャーターナイトにつきまして、スポンサークラブとして、この席をお借りして一言お礼を申し上げます。

2760地区をはじめ3地区、66ロータリークラブから770名の皆さんにご出席を賜りました。お陰様で、チャーターナイトも滞りなく、盛大かつ賑々しく執り行うことができました。

これも、松本ガバナーをはじめ6RCの皆さんのご協力の賜と心からお礼申し上げます。今後とも名古屋東山ロータリークラブをよろしくお願い致します。

挨拶は以上といたしまして、今日はお医者さんが多いことでもあり、以前、私どもの例会でお話したことはありますが、一寸お耳を汚します。

「今年の風邪は夫婦カゼ」だそうであります。皆さんお気をつけ下さい。熱はさめてもセキはぬけないそうであります。



冷たくて暖かい話

(5月7日 第41回例会)

皆さん今日は。

ビジターの方々、よくお越しくございました。
心から歓迎申し上げます。
会員の皆さん、ご出席ありがとうございます。

ある人からこんな話を聞きました。

70歳になったばかりの社長がおられたのでありますが、軽いボケ症状が現れたので周囲が心配して医者相談しました。

医者は、まず本人の日常生活を詳しく聞いてこれは救いようがないなと思ったそうであります。

というのは、件(くだん)の社長には優秀な秘書がついておりまして、本人が口に出して言う前に、秘書が意を察して事を処理してくれるため、社長は個室にいただけで、ほとんどの用件が片づいておりました。

また、社長には有能な運転手が控えており、例えば、道路が渋滞していても、先方への連絡、言い訳はすべて運転手がやってくれていたため、社長は唯黙って車に乗っていればよかったです。

そのうえ、家には行き届いた奥さんがおられ、

家庭問題で社長を煩わせることは全くありませんでした。

相談を受けた医者は、結局、社長は「貧しい環境」にいると思って、心を鬼にすることにしました。

まず、運転手に辞めてもらいました。
秘書には「命じられた以外のことは何もやるな」と厳しく注文をつけました。

そして、奥さんには、「できるだけほっときなさい」と忠告しました。

それ以後、社長は、自分でホテル、航空券などの予約、取り消し、変更をしなくてはならなくなり、このことが、そのまま情報量の多い世界に身を置くことになったのであります。

帰宅しても奥さんは留守がちのため、自ら風呂も沸かし、冷蔵庫も開くことになりました。

最初、周りは心配しましたが、それでも、みんな冷たく、そして暖かく辛抱しました。

やがて、社長のボケ症状は完全に直ってしまったということでもあります。

いずれにしても、便利だとか楽だとか孤独とかは脳の敵であります。脳のために、自ら求め